小5理科 植物の発芽と成長 No.3

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1　インゲンマメなどの発芽前の種子の中に、豊富にふくまれている養分は何ですか。

○ 二酸化炭素　○ でんぷん　○ 水分　○ 酸素

問2　種子が発芽して根やくき、葉が育つにつれて、種子の中にあるでんぷんの量はどのように変化しますか。

○ 発芽や成長のために使われて少なくなる。
○ 使われないため変化しない。
○ 発芽や成長のために使われて多くなる。
○ 水に溶けてすべて空気中に出ていく。

問3　植物に肥料をあたえないで育てると、植物の育ち方はどのようになりますか。

○ 葉の数が少なくなり、くきがどんどんのびます。
○ 葉の数が多くなり、くきがとても太くなります。
○ 葉の数は変わりませんが、花がすぐにさきます。
○ 葉の数が少なくなり、くきがあまりのびなくなります。

問4　種子の中にあり、成長すると植物の根、茎、葉になる部分を何といいますか。

○ 子葉　○ 根・くき・葉になる部分　○ 養分をたくわえる部分　○ 種皮

問5　インゲンマメなどの、まだ芽が出ていない状態の種子のことを何と呼びますか。

○ 成長したあとの本葉　○ 発芽した後の子葉　○ 発芽前の種子　○ 花がさいたあとの果実

問6　水と温度の条件を同じにして、空気にふれさせる種子と、空気にふれさせない種子を用意して、発芽の様子を比べる実験を何といいますか。

○ 発芽に水が必要か調べる実験
○ 発芽に日光が必要か調べる実験
○ 発芽に温度が必要か調べる実験
○ 発芽に空気が必要か調べる実験

問7　種子が発芽するために必要な条件のうち、冷たすぎず、ちょうどよいあたたかさのことを何といいますか。

○ 適当な温度　○ 適当な日光　○ 適当な空気　○ 適当な水分

問8　植物が成長するときに、肥料（養分）はどのような状態で植物に取り入れられますか。

○ つぶのまま乾いた状態
○ 水に溶けた状態
○ 空気中にまざった状態
○ 日光に照らされてかわいた状態

問9　水、空気、適当な温度を同じにして、肥料を「あたえた種子」と「あたえない種子」を用意しました。発芽の実験をすると、結果はどうなりますか。

○ 肥料をあたえない種子だけが発芽する
○ 肥料をあたえた種子だけが発芽する
○ どちらの種子も発芽する
○ どちらの種子も発芽しない

問10　種子が発芽するために水が必要であることをたしかめる実験では、どのように条件を変えて比べればよいですか。

○ 一方には水をあたえ、もう一方には水をあたえない。
○ 両方に水をあたえ、一方だけを暗い場所に置く。
○ 両方に水をあたえ、一方だけを冷蔵庫に入れる。
○ 一方には土を入れ、もう一方には土を入れない。

問11　種子が発芽するために光が必要かどうかを調べる実験で、光を当てた箱に入れた種子と、光を当てない暗い箱に入れた種子は、それぞれどうなりますか。

○ どちらの箱の種子も発芽しない
○ 光を当てた箱の種子だけが発芽する
○ 光を当てない暗い箱の種子だけが発芽する
○ どちらの箱の種子も発芽する

問12　インゲンマメの発芽に「水」が必要かどうかを調べる実験をするとき、２つの容器で「変えなければならない条件」はどれですか。

○ 水をあたえるかどうか　○ 日光にあてるかどうか　○ 置く場所の温度　○ 空気をあてるかどうか

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう